

実務で成果を出せるIBA



株式会社ホテルオークラ神戸 管理本部 総務人事部人事課 岩田 麻奈美

私がMBAへの進学を考え始めたのは、6年ほど前でした。当時は幹部育成のための社員教育を企業に提案し、講義を行う営業兼講師の仕事をしていました。一口に社員教育といっても企業のニーズは様々。通常は各クライアントの課題点をヒアリングし、研修を組み立てます。その際に今後の人事戦略や方向性を一緒に考えてくれ、というクライアントも出てきました。新規事業を立ち上げるから事業計画書を見てくれ、と言われたこともあります。その時、今の自分のレベルではクライアントに満足な回答ができない、と感じたことがMBAへの進学のきっかけとなりました。

IBA進学後は目から鱗の連続でした。それまでは各種セミナーや大学での講座や本で学習していましたが、バラバラな知識であり、有機的に繋がっていないことが解ったのです。IBAはマーケティング、ファイナンス、テクノロジーマネジメント、経営、アントレプレナーと様々なコースがありますが、それらはコースとして独立しているのではなく、各科目、各コースが繋がっており、それをビジネスの現場で活かすことができると感じました。当時も学んだことを即仕事に活かせる環境にあり、クライアントへのより満足度の高い提案を行うことができました。そのため、在学中に大型の案件を受注し、またお客様からの紹介で次々に得意先が増え、皮肉にも？入学前よりはるかに忙しい状態になってしまいました。

卒業後はさらに自分の可能性を試したくなり、現在は株式会社ホテルオークラ神戸の人事課の中で研修計画の立案と実施を主とした仕事をしています。ホテルはサービス産業であり、「人材」が重要な成長戦略となります。オークラグループはアジアを中心とした世界戦略を拡大する方向であり、グローバルな人材育成が急務となっています。これまでは教育の内容は外部機関に任せきりでしたが、自社独自の強い人材を作るべく、内容を一から考え、実施し、新制度を創造する過程にあります。私の担当は人材育成計画全般及び幹部教育（上級管理職教育）ですので、これからの根幹となる人材を育てていく喜びとやりがいがあります。現在は人材戦略について経営陣と話す機会が多いのですが、その際にもIBAで学んだことが活かれています。やはり企業全体の成長には？という視点で話すことが必要であり、色々な方向から「ビジネス」を学ぶことでそういった視点が身に付いたのだと思います。今は経営陣に自信を持って自分の考えている成長戦略を話すことができます。

進学がなければ、今の自分は無かったといっても過言ではありません。人生の重要な転機となり、その後考えていた以上の成果と活躍の場を得ることができました。これからも学んだことを生かすPDCAのサイクルを絶やさず、研さんしていきたいと思っています。